

夜間の子ども急病相談



こんなとき
ありませんか？



夜なのに
熱！？
どうしよう

受診を
迷ったら

埼玉県小児救急電話相談

～ 受診すべきか、家で様子を見るか～
子どもの急病時の対処法や受診の必要性について看護師が助言します。

診断や治療を行うものではありません。

大人の相談や育児相談及び医療機関の紹介は行いません。
緊急時以外の相談も受けていませんので控えてください。

電話番号 **#8000** (ダイヤル回線、IP 電話を利用している人は、
電話 048-833-7911) へ

実施時間：月～土曜日午後 7 時～翌朝 7 時、
日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)
午前 9 時～翌朝 7 時

埼玉県救急医療 情報センター

診療できる医療機関を 365 日、24 時間
体制で案内します。

電話番号 **048-824-4199**

医者を探したい



歯科・精神科は受診できません。入院費などの医療相談は行っていません

参考
サイト

「こどもの救急」 <http://kodomo-qq.jp/>

社団法人 日本小児科学会が運営しているサイトです。
当てはまる項目をチェックすると受診すべきかどうか診断されます。



草加市での受診先は

草加市子ども急病夜間クリニック

内科系急患者(発熱・腹痛、おう吐など)に**応急的診療のみ** 行います。

所在地：市立病院 心臓・脳血管センター1階(草加市草加 2-21-1)

電話番号：048-954-6401(予約や来院前の電話は不要、問合せは～10時15分)

診療科目：内科・小児科(0～15歳)

診療日：年間を通して毎日

診療時間：月～金 午後7時30分～10時30分 土・日・祝 午後6時30分～10時30分

骨折やけがなどの外科的な治療はできませんので、その場合は、草加市立病院へ電話連絡
(電話 048-946-2200)のうえ、救急外来を受診してください

保険証、こども医療費受給者証、母子健康手帳
お薬手帳などをご持参ください。

初期救急のため、
薬は原則1日分です。
証明書、診断書等は
発行できません。



休日診療



草加市休日当番医(内科・外科・歯科)

日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)の救急患者や負傷者の
診療を行います。歯科は応急的診療です。

[診療時間]

内科・外科 日曜・祝日・年末年始 午前9時～正午・午後2時～5時

歯科 祝日・年末年始 午前9時～正午

当番医は、「広報そうか」、草加市ホームページで確認できます。



草加市モバイル
休日当番医
QRコード



こんなときには救急車を



ためらわず救急車を呼んでほしい症状：小児(15歳未満)

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気やけがの可能性がります。

顔

- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い



胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い

手足

- 手足が硬直している

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがり、嘔吐が止まらない
- ウンチに血がまじった

意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)



けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

飲み込み

- 変なものを飲み込んで、意識がない

事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落



じんましん

- 虫に刺されて、全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった



やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど

生まれて3か月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい



◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

救急車を呼んだら、こんな物を用意しておくとう便利ですよ。



- 保険証や診察券
- お金
- 靴
- 普段飲んでいる薬(おくすり手帳)



(乳幼児の場合)

- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- ほ乳瓶
- タオル



中毒110番は化学物質(たばこ、家庭用品など)、医薬品、動植物の毒などによって起こる急性中毒について、実際に事故が発生している場合に限定し情報提供しております。

(財)日本中毒情報センター

(365日利用可能：無料)

■つくば中毒110番

029-852-9999

午前9時～午後9時対応

■大阪中毒110番

072-727-2499

24時間対応

■たばこ専用電話

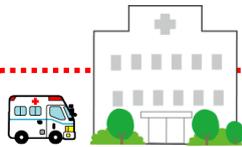
072-726-9922 (無料)

365日 24時間対応

(テープによる情報提供)

(財)日本中毒情報センターホームページ

<http://www.j-poison-ic.or.jp>



救急医療の受診について

症状に緊急性がなくても、「交通手段がない」「どの病院に行けばよいかわからない」「便利だから」「困っているから」と救急車を呼ぶ人がいます。また、「平日休めない」や「日中は用事がある」、「明日は仕事」などの理由で、救急外来を、夜間や休日に受診する人もいます。

救急車や救急医療は**限りある資源**です。

いざというときの皆さん自身の**安心のために、救急医療の受診について考えてみませんか。**

こうしたケースで救急車が呼ばれました ～本当に必要か考えてみましょう～

- 蚊に刺されてかゆい
- 病院でもらった薬がなくなった
- 海水浴に行って、日焼けた足がヒリヒリする
- 今日入院予定日だから、病院に行きたい
- 紙で指先を切った。血は止まっているが...
- ヘルパーを呼んだが来てくれなかったので、代わりに救急車を呼んだ
- 病院で長く待つのが面倒なので、救急車を呼んだ

救急車の利用について考えてみましょう

日中から具合が悪そうならば、日中のうちに受診するようにしてくださいね。また、かかりつけ医を決めておくことも大事ですよ。

わかりました

